

# 大会規則及び選手注意事項

- 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会要項及び申合せ事項によって行う。ただし、162条5については適用しない。
- 競技者の招集について
  - 事前に欠場が明らかな場合には、朝の受付時にエントリーシートの種目欄に赤線を引き提出すること。
  - 招集所は設けず、リレーを除き、現地集合とする。  
トラック種目は各種目のスタート地点付近、フィールド種目は各種目のピットに集合すること。
  - 招集は、出場できる服装で集合し、密集を避け係員の指示の指示に従うこと。  
各集合時間の基本は次のとおりとする。組ごとに集合時間を設定するので、タイムテーブルの集合時間を確認すること。タイムテーブルの集合開始時間よりも早く集合することを禁止する。

	事前に欠場が明らかな場合		集合開始	集合完了
トラック	学校受付時に欠場選手を報告・削除してください	予選	競技開始 15分前	競技開始 10分前
		決勝	競技開始 15分前	競技開始 10分前
フィールド		決勝	競技開始 35分前	競技開始 30分前

**\*但し、棒高跳は競技開始 50分前に集合完了し、競技場内での練習時間をとる**

- 四種競技についても同様のかたちで行う。トラック種目は各種目のスタート地点付近、フィールド種目は各種目のピットへ集合すること。
  - リレーの招集については、メンバー全員で1走のスタート地点付近（100mゴール）に集合すること。
  - フィールド種目の待機場所では1.5m間隔で待機する。指示された指定場所を使用すること。
- リレーについて
    - リレーオーダー用紙を1部作成し、集合完了1時間前までにTICへ提出する。リレーオーダー用紙については、当日TICで配布をする。
    - リレーのルールについて  
予選では予めエントリーした選手から2名以上が走らなければならない。  
決勝では予選で走った4名中の2名以上が走らなければならない。  
(エントリー以外の選手が走る場合は大会プログラムに記載された選手)
    - 個人種目の種別に関わらず、いずれの種別のリレーにもエントリー、出場ができる。ただし、1年、共通に重複してのエントリー、出場はできない。例) 1年の部のリレーにエントリーした場合、共通の部のリレーにエントリーすることはできず、出場もできない。
    - なるべく選手4人が同じ服装で走ること。
  - 走幅跳と砲丸投については、時間と密を防ぐ関係上、3回の試技のみとする。
  - バーの上げ方について  
走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の規定にする。但し、競技者が1人になった場合には、当該審判員または審判長がその選手の意向を聞いた上で決定する（不良条件の場合は主任の判断によって変更する）。

種目	練習	最初の高さ	
男子	共通 走高跳	1m40	45・50・55・60・65・70・75・80・85 以後3cmずつ
	2年 走高跳	1m30	35・40・45・50・55・60・65 以後3cmずつ
	四種 走高跳	1m25	30・35・40・45・50・55・60 以後3cmずつ
共通 棒高跳	2m00・50	2m00	2m20・2m40・2m60・2m80 以後10cmずつ
女子	共通 走高跳	1m20	25・30・35・40・45 以後3cmずつ
	2年 走高跳	1m15	20・25・30・35・40・45 以後3cmずつ
	四種 走高跳	1m10	15・20・25・30・35・40 以後3cmずつ

6. アスリートビブスは、小中体連指定のアスリートビブスを所属校で用意して使用し、必ずユニホームの胸・背両面に結着すること。(跳躍種目はどちらか一方でもよい。) なお、申込ナンバーからの変更は認めない。アスリートビブスがない場合は、本部にて1枚100円で購入し、登録済みのナンバーを書き入れて出場すること。また、トラック競技に出場する競技者はレーンナンバー(腰ナンバー)をユニフォーム下衣の右やや後方へつけること。※旧ナンバーカード(ゼッケン)はアスリートビブスに名称が変わりました
7. レーンナンバー(腰ナンバー)は各校で用意すること。
8. トラック種目のゴール後は、そのまま大きく左回りで競技場内の走路とスタンドの間を歩き、スタート地点まで戻る。このとき、同じ組の選手たちと1~2mの距離を空けて縦に並んで歩き、会話や接触等がないようにすること。
9. トラック競技・走幅跳・棒高跳のスパイクのピンの長さは9mm以下を使用し、走高跳は12mm以下とする。
10. 表彰について
- (1) 各種目とも3位までに賞状を授与する。
  - (2) 表彰については3位までとし、机上に用意してある賞状を自分で取って台上へ登る。
11. ウォーミングアップについて
- (1) ウォーミングアップ場として以下の場所を使用できる。
    - ・8月8日(土) バックストレート(補助競技場は使用不可)
    - ・8月9日(日) 補助競技場(バックストレートは使用不可)
  - (2) 選手と指導者のみ入場することが可能になる。入口で入場許可証による入場規制を行う。
  - (3) 8月8日(土)バックストレートを使用の際には、競技中の選手に十分に注意すること。特に長距離種目(800m以上の種目)の競技時間には、5~8レーンのみを使用すること。
  - (4) 使用する際には、競技役員の指示に従うこと。
  - (5) 雨天練習場は走幅跳の待機場所とする。該当種目の選手以外の立ち入りを禁止する。
  - (6) リレーは除き、集団でのアップは禁止とし、個別に距離を保つこと。特に補助競技場での走高跳、砲丸投ピットの使用は、役員のいない中では禁止とする。棒高跳については、補助競技場のマットの使用は禁止とする。
12. その他(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について、詳しくは新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを読むこと)
- (1) 大会運営のために必要に応じて競技役員より指示が出されたときはそれに従うこと。
  - (2) 物品の管理について、各自の責任において紛失・盗難等のないように注意すること。
  - (3) ゴミの処理については各校持ち帰りを徹底し、競技場や公園内に残していかないこと
  - (4) 写真、ビデオ撮影をする場合は、TICにおいて連絡先を記入した上でIDを受け取ることとする。  
※メインスタンド以外の入場はできない。メインスタンドの入場についてはコロナ対策マニュアル参照
  - (5) 不正スタートは1回で失格とする。四種競技は2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。ただし、第162条5については適用しない。
  - (6) 気温の状態を見て、3000mにおいて、バックストレートにて給水を行うことがある。
  - (7) 共有の用具に触れる種目では競技前に手を消毒し、競技後にまた手を消毒すること。  
例：100m スタート前に手を消毒、スタブロに触れる、ゴール後に手を消毒

砲丸投 投擲前に手を消毒、砲丸を投げる、一投投げるごとに手を消毒

- (8) 選手は原則としてマスクを全員が着用、しかし熱中症対策として個人の判断においてマスクを一時的に外すことも可。(競技時は外しても良いが、待機中は着用する)
- (9) メインスタンドのみ解放する。スタンド入口で入場許可証による入場規制を行う。  
下段を生徒席とするが、目印のある座席のみ座っても良い。  
(※観客席の対応については、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを読むこと)
- (10) スタンドに集団でいることや声を出しての応援は禁止する。  
握手やハイタッチ、ハグ等の接触するような行為を避ける。
- (11) 更衣室は最大15名定員で行為が終了次第すぐに退出すること。